

名古屋西高校ラグビー部
監督の大槻卓監督(左)と森
稜主将(中)日新聞社で



勝ち上がり、決勝で名古屋市立工芸に20-0で勝った。森主将は「自分たちの力を出し切り、予選で負けた相手を圧倒できた」と振り返る。

同校ラグビー部は創部五十九年目。過去二年は十五人制に出場したが、現在部員は十一人まで減った。十人制は全国大会はないが、森主将は「勝つ喜びは変わらない。それを励みに続けている」と言う。

大槻監督は日本協会公認審判で週末は学校を空けることも多く、部員集めは苦労が続く。同校はラグビー部のある中学校と合同練習するなど、部員確保に工夫を凝らし、十五人制復活を目指している。

勝つ喜び励みに
県高校ラグビー10人制
優勝の名古屋西主将ら
第八十七回全国高校ラ
グビー県大会十人制の部

市中区の中日新聞社を訪
れ、優勝を報告した。

十人制には十一校が出

場。名古屋西は予選リーグ、決勝トーナメントを